

No.2874

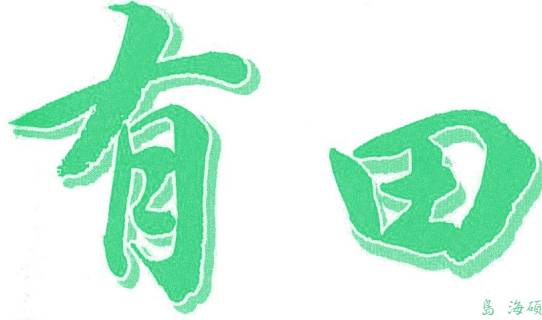
2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：菅原委員



島海碩書

第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成30年6月21日 第2875回

- ・最終例会 会長・幹事 報告
- 外部卓話 于 咏(ウエイ) 「報恩・奉仕・繁栄」
- ・ソング:「小さな世界」

前回の報告 (第2874回例会)

開催日 平成30年6月14日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

ニコニコ箱の報告 (川口副SAA)

- 成川(守)君:本日の委員会活動報告、よろしくお願ひいたします。来週はいよいよ最終例会です。よろしくお願ひいたします。
- 橋本君:委員会活動報告、よろしくお願ひします。
- 中元君:本日、ロータリー財団委員会活動報告させていただきます。
- 松村君:先週、10年ぶりぐらいに嶋津克史さんにお会いしました。
- 橋爪(誠)君:会長、幹事あと2回ですね。気を抜かず最終例会の準備がんばります。
- 木本君:本日の委員会活動報告の発表、宜しくお願ひ致します。
- 嶋田(崇)君:委員会活動報告、宜しくお願ひします。
- 上野山(栄)君:本年度委員長の皆様、おつかれ様です。委員会活動報告、よろしくお願ひします。
- 菅原君:委員会活動報告、宜しくお願ひ致します。
- 中村君:先週は井上さんにお世話になりました。
- 井上君:活動報告、おつかれ様です。
- 上野山(捷)君:各委員長様、発表ご苦労さまです。
- 川口君:本日の委員会活動報告、宜しくお願ひ致します。

出席報告 (脇村例会運営委員)

本日の会員数31名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数23名
 (出席規定免除会員7名)
 79.31%

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成30年7月5日 第2876回

- ・初例会 新旧会長幹事引継
- 上野山栄作会長 運営方針発表
- ・ソング:「君が代」「奉仕の理想」

5/31 77.78%
 MU:なし

会長の時間 (成川(守)会長)

先程、和歌山特報の社長様が来られて、先日のウエノ公園への植樹のお礼を申されました。そして、その記事が掲載された新聞をもって来ていただきました。新聞は多数置いていただいていますので、入用の方は自由にお持ちかえりください。



今日は先週に引き続いて委員会活動報告です。よろしくお願ひ申し上げます。今年度は、会員皆様のお陰で、より充実した奉仕活動、親睦活動を行うことが出来ました。衷心より感謝申し上げます。

さて、10年ほど前ですが、私がRI研修リーダーをしていた時、当時の田中作次RI理事とともに、「クラブ強化推進委員会」を結成し、「ロータリアン必携」を15,000冊発行したり、「理想的ロータリー・クラブの条件」などを作成しました。

「理想的ロータリー・クラブの条件」(2005年5月20日)を紹介します。

全般

1. ロータリーの綱領の重要性を理解し、全体をバランスよく実践している。
2. 国際ロータリーのテーマをよく理解している。
3. 地区内のモデル・クラブとして卓越したクラブを目指している。
4. ロータリーにおける全ての活動に会員は意欲的である。
5. ロータリーのバッヂをいつも着けている。

クラブ奉仕－出席

6. 年間平均90%以上の出席率を目指している。
7. ゲストのためにも、出席率のためにも年間の例会変更を安易に行わない。

クラブ奉仕－親睦

8. 全会員がロータリーの基本である親睦と奉仕を常に心得ている。
9. 親睦活動が活発で、しかも和やかな雰囲気である。
10. クラブ内に派閥をつくらない。
11. 会員が声を掛け合う(挨拶や名前を呼ぶ)比率が高い。
12. 会員や配偶者の誕生日、結婚記念日を例会で祝う。
13. 会員の配偶者が時々例会に出席したり行事に参加する。

クラブ奉仕－例会

14. いつも他人から学ぶ姿勢で例会に臨んでいる。
15. 例会中の私語がきわめて少ない。
16. 例会中、お話しの前後に大きく拍手する会員比率が70%以上である。
17. 例会でのクラブ会長の挨拶は、ロータリーに関することに重点におく。
18. 他のクラブをメーキャップした体験を時々クラブで報告している。
19. 例会の卓話に青少年交換学生、財団学友や米山奨学生を招いている。
20. 四大奉仕部門についてそれぞれ年間最低1回は30分のクラブフォーラムを実施している。

クラブ奉仕－プログラム

30. 全会員が関心を持てるような例会のプログラムを実施している。
31. 例会プログラムや奉仕プログラムはマンネリ化させず、会員のニーズに合わせ前例主義にならない工夫をしている。
32. 「ロータリーの月間」にはそれぞれの具体的なプログラムを行っている。

クラブ奉仕－会員増強

33. 会員はロータリーの素晴らしさを認識し、退会防止に努め会員増強に熱心である。
34. 新会員勧誘は全会員がグループに分かれて行き、退会防止に全会員がエネルギーを注いでいる。
35. 新会員の入会式を実施し、心から歓迎の意を表している。

クラブ奉仕－会員組織

36. 会員の年齢で老・壮・青のバランスがとれるよう努めている。
37. 会員の多様性を認める(人種、宗教、職業、年齢、性別、考え方、価値観等)。
38. 近い将来に女性会員が全会員の10%以上(世界の現状では12.5%です)になるよう常に努力をしている。

クラブ奉仕－新会員教育

39. 新会員にロータリーの基本や歴史について話し合う会合を持つ。
40. 新会員教育の3ヵ年計画を持っている(新会員に3ヵ年の教育計画を入会時に明示する)。
41. 新会員教育を年間最低6回以上実施している。

クラブ奉仕－ロータリー情報

42. ロータリー情報が少なくとも4分以上毎例会に提供されている。

クラブ奉仕－雑誌・会報

43. 雑誌委員会は月に1回以上、例会で「ロータリーの友」の内容と感想を報告している。
44. クラブの歴史の節目に「クラブ史」を編纂している。

クラブ奉仕－広報

45. ロータリーのイメージアップと地域へのPRに全会員が力を注いでいる。

クラブ奉仕－会合

46. それぞれの委員会が活発に活動し、活動後に反省会が行われている。
47. クラブ理事会の報告は毎月実施されている。
48. クラブの委員会報告が例会で常に活発にされている。
49. 国際大会・地区大会・IM・その他の行事への積極的参加を目指している。
50. 地区セミナーや国際大会参加者が参加後2週間以内に例会で15分以上報告している。
51. 地区レベルやクラブを超えた行事のホストを積極的に引き受ける。

クラブ奉仕－指導者

52. クラブや地区の将来を見据えた広い視野からクラブ会長を選んでいる。
53. クラブを超えて将来活躍できる人を育てる努力をしている。
54. 地区委員など積極的にクラブから選出し、委員を支えている。

クラブ奉仕－財務

55. クラブ活動資金と運営資金を明確に分けている。
56. クラブの財務で赤字を作らない。
57. 年会費以外にはできる限り例会でロータリー関係以外の資金を集めないよう努力している。

クラブ奉仕－運営

58. クラブの発展を図るため長期計画(3-5年)を立て、毎年更新している。
59. クラブ運営について、まず棚卸を行い、反省と改善が常に実施されている。
60. 「クラブ活力テスト」を年一回実施し、理事会が対策を検討している。
61. 「クラブ会員満足度アンケート」調査を年一回行なっ

- ている。
62. 全会員が自分のクラブの良き伝統や個性を自覚し、それを発展させている。
63. インターネットやメールを活用する。しかし、印刷物やFAXを希望する会員への配慮もされている。
64. 政治的問題は例会中には一切触れない。
65. 会員および家族の個人情報の保護に努めている。

職業奉仕

66. 職場や地域社会で職業倫理を高めるためのクラブ活動や議論が行われている。
67. 全会員は「四つのテスト」を暗唱し、これを実行している。

社会奉仕

68. 思いやりの心を持ち他人や社会のために尽くすこと(奉仕の理想)を理解している。
69. 地域社会のニーズを的確に捉え、地域社会に対する奉仕とそのPRの機会を逃さない。
70. 例会の卓話に地域の顕著な活動実践者を招き、地域のニーズを知る。
71. 奉仕プロジェクトは綿密に計画し、実施後必ず評価を行っている。
72. RAC、IACの少なくとも一つをスポンサーしている。

国際奉仕

73. 会員はロータリー財団のプログラムと寄付の重要性を認識している。
74. WCS、ポリオ、保健問題、教育など人道的/教育的プログラムをクラブで討議し、挑戦しようとしている。
75. 財団の年次寄付は全会員が少なくとも年間100ドル以上行っている。
76. 各種奨学生、GSEなどのお世話をし、国際親善に参加する積極性・受容性がある。
77. 国内外の姉妹クラブを持ち、交流を定期的に行う。
78. 米山財団への寄付はその趣旨をよく理解し、積極的に取り組んでいる。

皆様、当クラブは、いかがでしょうか？
合格ですか？

近年の指針は、下記です。

●活気あるクラブとなるためのベストプラクティス (Best Practices for Vibrant Clubs)

各クラブは、活気あるクラブとなるための独自のクラブ・リーダーシッププランを作るべきである。元・現・次期クラブ役員は、クラブの長所やベストプラクティスを取り入れた独自のリーダーシッププランを、協力して作るべきである。

これらのベストプラクティスには、以下のものがある。

- クラブに活気をもたらすための長期計画を立てる
- ロータリークラブ・セントラルで、クラブの長期目標を支える年次目標を立てる
- 会員の積極的な参加を促し、情報を伝えるためのクラブ協議会を開く
- クラブ会長、理事会、委員会委員長、会員、地区ガバ

- ナー、ガバナー補佐、地区委員会が、互いに、また、事務局と効果的にコミュニケーションを取る
 - 5月末までにdata@rotary.orgに次年度のクラブ役員を報告する
 - 後継者の準備および未来のリーダーの育成を通じて、クラブの長期的な安定を図る
 - 現在のクラブの慣習を反映させて細則を修正する
 - 会員のための親睦行事を開き、友情を育む
 - 全会員がクラブのプロジェクトや役割に積極的に参加する
 - 定期的に一貫した研修を会員に提供する
 - クラブのニーズに基づく委員会を設置する
- クラブ目標を達成し、クラブの独自性を反映させるため、クラブのリーダーは毎年、慣習の見直しを行うべきである。
- 詳しくは「元気なクラブづくりのために:クラブ・リーダーシッププラン」を参照のこと。

幹事報告 (橋本幹事)

1. 6/7に開催した第11回定例理事会について

<報告事項1件>

①久保氏への申し入れについて(臨時理事会の結果) (幹事)

<協議事項9件>

①6月の例会プログラム(例会運営委員会)【承認】

②最終例会について(例会運営委員会)

映像上映は食事時間に行う【承認】

閉会挨拶は副会長が欠席のため幹事が行う【承認】

③永続功労者表彰(幹事)【承認】

④新入会員の委員会所属とメンターについて(幹事)

福原陽司会員の所属は、親睦活動委員会と会計監査。また、メンターは成川守彦会長【承認】

⑤5月試算表(会計)【承認】

⑥3/17開催RC第2分区研修会の会費について(幹事)

登録料は参加者個人の負担とする【承認】

⑦家族親睦旅行の会計報告(親睦活動委員会)【承認】

⑧桜木の手入れ及び植樹の会計報告(社会青少年奉仕委員会)【承認】

⑨長期青少年交換留学生の募集について(社会青少年奉仕委員会) 来週の例会で、次年度国際奉仕委員長が会員の意向を確認する【承認】

2. ウエノ公園での植樹のことが特報に掲載されました。

3. 他クラブより例会変更のお知らせが届いています。

4. 次週は最終例会です。記念写真を撮りますので皆様ネクタイ着用で参加ください。



ロータリー友誌 (菅原R広報委員)

ロータリーの友誌6月号

☆横組

・P3 イアン・ライズリーRI会長のメッセージとして2年間の感謝の言葉が述べられています。

・P5~13 同じくイアン・ライズリーRI会長が「一人1本の

木を植えよう」と提唱した植樹活動について全国の活動例が掲載されています。

- ・成川会長が前回例会で解説されましたが6月はロータリー親睦活動月間です。P14～15に囲碁同好会の記事とともに各親睦活動グループの一覧が掲載されています。関心のある方はMy Rotaryから親睦で検索すると各活動グループのページへのリンクがありますので一度ご覧になられては如何でしょうか。
- ・P24からは米山梅吉氏の生誕150年にちなみ、米山氏の生い立ちが掲載されております。

☆縦組

- ・ロータリー・アット・ワークの中、P23に田辺RCの「土砂災害からの復興に向けて植樹」の事業、またP29に和歌山東南RCの「がん検診啓発とところのコンサート」の事業についての活動報告が掲載されています

委員会報告

* 例会運営委員会 (橋爪(誠)委員長)

次週は最終例会です。時間は午後4時半から、場所は有田市文化福祉センターです。食事とお酒を準備しています。お車でお越しの方はお帰りの際、飲酒運転にならないようお願いいたします。

* ロータリー財団委員会 (中元委員長)

成川雅史君より多額の御寄附をいただきました。ありがとうございました。

* 次年度会長 (上野山(栄)会長エレクト)

第8回次年度理事会を、本日例会終了後開催します。次年度の理事・役員の皆様よろしくお祈りします。

* 次年度R広報委員会 (菅原次年度委員長)

本日、例会終了後、次年度委員会を行います。委員の皆様はお残り下さい。

* 創立60周年記念事業特別委員会ロータリー事業部会 (川口委員)

「ロータリーデー」の事業案内、ポスター配布について

委員会活動報告の発表

本日発表しました各委員会の活動報告は後日配布します「クラブ概況」をご覧ください。



成川(雅)国際奉仕委員長



中元R財団委員長



松村米山記念奨学会
委員長

ミニ卓話 (成川(守)会長)

「全世界を100人の村に縮小すると」

さて、私が2005年の2640地区大会で紹介しました「全世界を100人の村に縮小すると」について話したいと思います。

「もし、現在の人類統計比率をきちんと盛り込んで、全世界を100人の村に縮小するとどうなるでしょう。」ということですが。

2001年前後からインターネット上でチェーンメールのように世界的に広まった「世界がもし100人の村だったら (If the world were a village of 100 people)」は、世界の人々の相互理解、相互受容を訴え、「世界村」(global village)という言葉を生み出しました。

これは、アメリカのイリノイ州出身のドネラ・メドウス教授(環境科学)が1990年、「村の現状報告」と題した小文の中で、世界をひとつの村にたとえ、人種、経済状態、政治体制、宗教などの差異に関する比率はそのままに、人口だけを1,000人に縮小して説明したのです。これがネットを介して伝えられていくうちに、100人に人数が減り、また部分的に削除されたり、逆に加筆されたりして流布しました。

日本では、2001年3月にアメリカ、ワシントン・DCで元世界銀行に勤務していた中野裕弓が、元同僚から受け取ったものを日本語に訳したのが、最初だといわれます。また同年2001年には翻訳家の池田香代子とC・ダグラス・ラミスが日本語に訳してマガジンハウスから出版しました。

お手元に配布している資料を見てください。

(紹介)

2000年の「全世界を100人の村に縮小すると」

2016年の「全世界を100人の村に縮小すると」

閉会・点鐘 (成川(守)会長)

次週6月28日(木)は**休会**です。

7月5日(木)は**初例会**です。皆さん、ぜひご出席ください。

